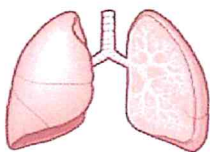


肺炎

NO、15

肺炎による死亡率が増えています。

がん、心臓病、脳卒中に次いで第4位です。(20年間)



◆肺炎とは。。。。

様々な病原菌の感染によって肺に炎症が起こった状態をいいます。

◆主な原因

「細菌」、「ウイルス」、「その他」です。

①細菌

市中肺炎(家庭で起こる肺炎)の半数以上が細菌、特に肺炎球菌によるものです。

「肺炎球菌性肺炎」は若い人からお年寄りまで、あらゆる年齢に起こり、重症化しやすい傾向にあります。

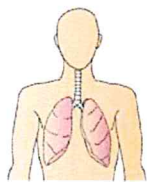
②ウイルス性肺炎

インフルエンザやはしか、水疱瘡などが長引いているうちにウイルスによる発症が肺まで広がってしまう
: あらゆる年齢に多い。

③その他

マイコプラズマ肺炎: 小児、若い成人に多い

クラミジア肺炎 : 学童期の子供、お年寄りに多い



◆肺炎の主な症状

発熱、悪寒、咳、喀痰、胸痛、呼吸困難、食欲不振等
これらの症状が数日間続きます。

風邪とは違って、自然に治る病気ではありません。

「いつもの風邪とは違うな!」と思ったら、早く医師の診断を受けてください。

◆肺炎の予防

- ◇風邪を引かないように気をつけましょう。
- ◇うがいや歯磨きでお口の中を清潔にしましょう。
- ◇手洗いの励行を怠らないようにしましょう。
- ◇室内の空気を清潔に、換気をよくしましょう。
- ◇自分のアレルギーを知り予防対策をしましょう。
- ◇禁煙を心がけましょう。



予防接種

肺炎球菌ワクチン



肺炎球菌には80種類以上の型があります。

この内感染する機会の多い23種類の型に対して免疫をつけることができるのが肺炎球菌ワクチンです。(一回の接種で5年以上効果が持続します)
医師にご相談ください。

肺炎球菌ワクチン接種は、下記のような方にお勧めです。

65歳以上の高齢者

心臓や呼吸器に慢性疾患のある方

腎不全や肝機能障害などのある方

糖尿病のある方

脾臓摘出手術などで脾機能不全のある方

.....などの方々

(2歳以上の脾臓の摘出手術を受けた方だけ保健が認められています。)

詳しくは掛かり付けの医師にご相談ください。